

ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド – インドの匠 – 設定来の運用状況について

2018年1月11日

◀ 基準価額・純資産の推移 ▶

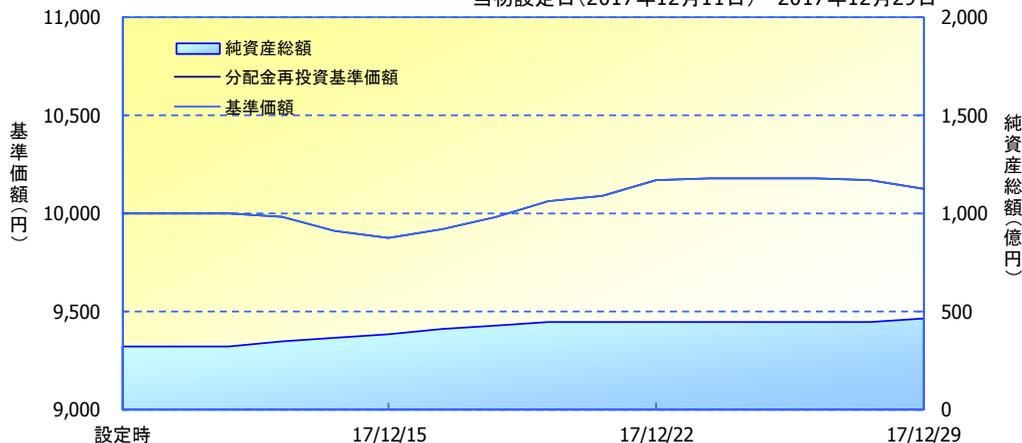
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年12月29日現在

基準価額	10,119 円
純資産総額	465億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	----
3か月間	----
6か月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	+1.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

◀ 主要な資産の状況 ▶

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド	運用会社名	ファンド名	比率
			合計94.9%
	ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ（香港）リミテッド	ミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）*	94.8%
	大和証券投資信託委託	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0.1%

◀ 組入ファンドの資産別構成 ▶

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

ミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）*

資産	銘柄数	比率
外国株式	46	84.0%
外国株式 先物	1	4.2%
現金、その他		11.8%
合計	47	100.0%

*ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※組入ファンドの資産別構成は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ（香港）リミテッドの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《ミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド(円クラス)の資産構成》

※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(香港)リミテッドの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

株式 業種別構成		合計84.0%	国・地域別構成		合計88.2%	通貨別構成		合計88.2%
業種名	比率		国・地域名	比率	通貨名	比率		
金融	21.1%		インド	88.2%	インド・ルピー	88.2%		
一般消費財・サービス	16.6%							
ヘルスケア	13.1%							
資本財・サービス	9.5%							
素材	7.0%							
生活必需品	5.9%							
公益事業	5.6%							
情報技術	3.3%							
エネルギー	1.8%							
不動産	---							
電気通信サービス	---							

※現金、その他を除きます。

組入上位10銘柄 合計34.1%

銘柄名	業種名	国・地域名	比率
ハート・ファイナンシャル・インクルージョン	金融	インド	4.2%
NSE Nifty 50 Index Futures	---	インド	4.2%
コタック・マヒンドラ銀行	金融	インド	4.1%
インドガス公社	公益事業	インド	3.4%
グラシム・インダストリーズ	素材	インド	3.4%
タタ・グローバル・ビハレージズ	生活必需品	インド	3.2%
CEAT	一般消費財・サービス	インド	3.1%
トレント・ファーマシューティカルス	ヘルスケア	インド	3.1%
SRF	一般消費財・サービス	インド	2.8%
フェデラル銀行	金融	インド	2.7%

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※先物の場合は、業種名を表示していません。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(香港)リミテッドのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

市場環境

設定以降のインド株式市場は、2州の州議会選挙において与党であるインド人民党（BJP）の勝利を受けて市場センチメントが改善したことを好感して上昇して始まり、また米国における法人税減税を含む税制改革の実現可能性が高まったことも支援材料となり、堅調な展開が続きました。

為替市場では、州議会選挙において与党が勝利したことや米国の長期金利上昇を受けて円安が進行したことなどから、インド・ルピーは対円で総じて堅調に推移しました。

ポートフォリオ構築状況

当ファンドでは、中長期的に高い成長ポテンシャルを有する銘柄を選好し、株式の買い付けを進めてまいりました。組入ファンドであるミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）における株式組入比率（含む、先物）は、12月29日時点（現地）で約88.2%となっています。

業種別では、不良債権処理の進展や貸出増加、金融サービスの普及から恩恵を受ける金融セクター、中間層の消費拡大から利益成長が期待される一般消費財・サービスセクターの比率が高位となっています。

（組入上位銘柄）

● バラト・ファイナンシャル・インクルージョン（金融セクター）

同社は、消費者金融ソリューションを手掛ける消費者金融会社です。貧困層向けなどに、事業の資金調達を目的として小口融資を行っています。業界内での買収により、調達コストの低下、利益率の改善などのプラス効果が見込まれます。

● コタック・マヒンドラ銀行（金融セクター）

同社は、銀行・保険業をはじめ幅広い金融サービスを提供する商業銀行です。主なサービスは、手形割引、リース、定期預金の運用、証券仲介業務、マネーマーケットオペレーション、投資銀行業務、消費者金融などで、リテール、法人向け銀行業務を行っています。

● インドガス公社（公益セクター）

同社は、石油および液化石油ガス（LPG）の加工・販売会社で、インド政府による国有企業です。インドにおけるガス供給網の拡大、ガス消費量の増加から恩恵を受けるものと考えています。

● グラシム・インダストリーズ（素材セクター）

同社は、アデティア・ビルラグループ傘下の複合メーカーです。主な製品は、セメント、化学製品、繊維などです。

● CEAT（一般消費財・サービスセクター）

同社は、自動車、建設機器、スクーター、自動二輪車を対象としたタイヤメーカーです。世界中の多くの企業向けに製品を輸出しています。

市場見通しおよび今後の運用方針

インド株式市場は、米国の利上げや長期金利の動向、原油価格の上昇に伴うコスト上昇懸念、投資家の利益確定の動きなどに左右される展開が続くものと思われます。しかし、中長期的には、インド中間層拡大に伴う消費拡大、インド政府によるインフラ投資、海外からの資金流入などが支援材料になり、底堅い展開が継続することを予想しています。

当ファンドでは、経営者のクオリティや事業の成長性等に着目し、徹底した調査を行なうことで高い成長ポテンシャルを有する銘柄を選別し、株価バリュエーション、ファンダメンタルズ等を勘案してポートフォリオを構築します。セクター別では、リテール向けの金融サービスの普及から高い利益成長が期待される金融セクターや、インド政府によるインフラ投資拡大から恩恵を受ける素材セクターや資本財サービスセクターなどに投資妙味があると考えます。

【2018年の注目テーマ、イベント】

- ①米国の利上げ動向、米国の長期金利上昇ペース
- ②インドの州議会選挙などの政治情勢
- ③インドの財政健全化、政府予算の動向
- ④インド企業の企業業績、物品・サービス税導入の影響

以上

ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド –インドの匠–

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

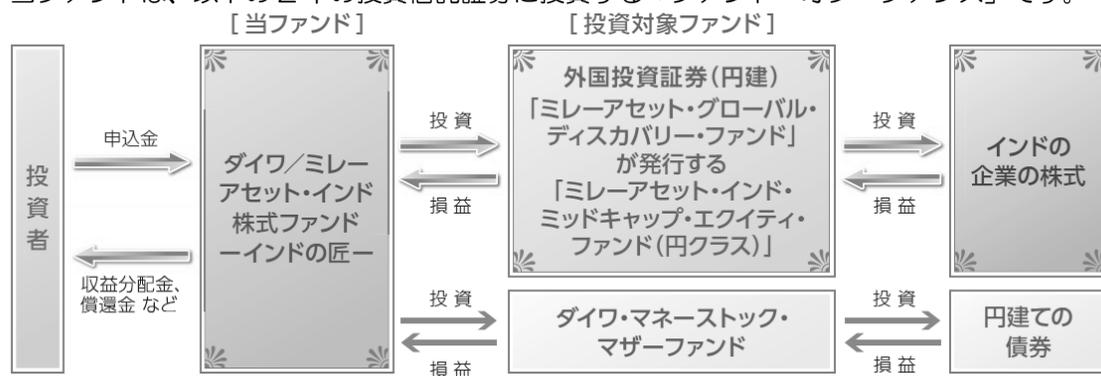
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. インドの企業の株式の中から、財務状況、成長性、経営の質等に着目し投資します。
(注)「株式」…DR（預託証券）を含みます。
2. インド株式の運用は、ミレーアセット社が行ないます。
3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カンントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド –インドの匠–

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.68%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.895% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会